



令和 8 年 6 月 19 日
道路局道路交通管理課

「続け未来に 地域の道路は たからもの」

～令和 8 年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品が決定しました～

令和 8 年度「道路ふれあい月間」推進標語の入選作品（最優秀賞 3 作品、優秀賞 6 作品の計 9 作品）が決定しました。

国土交通省では、毎年 8 月を「道路ふれあい月間」として、道路の愛護活動や道路の正しい利用の啓発等の各種活動を推進しており、この一環として、令和 8 年度「道路ふれあい月間」の推進標語を広く一般から募集した結果、全国から 2,244 作品の応募がありました。

これらの応募作品について、令和 8 年度「道路ふれあい月間」推進標語審査懇談会の小早川悟委員（日本大学理工学部教授）、三好礼子委員（エッセイスト、元国際ラリースト）、やすみりえ委員（川柳作家）の 3 名に選考いただき、[小学生の部][中学生の部][一般の部]の部門毎に、最優秀賞 1 作品と優秀賞 2 作品を決定しました。

入選作品の応募者には、国土交通省から賞状及び盾を贈呈いたします。

入選作品の標語は、令和 8 年度「道路ふれあい月間」の推進のため、幅広く活用する予定です。

※委員名は五十音順

【問い合わせ先】

道路局道路交通管理課 水上、吉岡

電 話 03-5253-8111（内線 37-422、37-423）

03-5253-8482（直通）

令和8年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品

◆ 最優秀賞（3作品）◆

「小学生の部」

「夕暮れの 一番星は 反射板」

たけばやし ゆうすけ
竹 林 優 佑 さん （北海道 別海町立中春別小学校）

「中学生の部」

「未来まで つないでいこう 道しるべ」

やました
山下 ひとみ さん （京都府 京都市立洛北中学校）

「一般の部」

「続け未来に 地域の道路は たからもの」

いまきた ま な み
今 北 真 奈 美 さん （兵庫県 宝塚市）

◎最優秀賞3作品のうち、委員が特に高評価をした「続け未来に 地域の道路は たからもの」を
今年度の代表標語とします。

◆ 優秀賞（6作品）◆

「小学生の部」

「限りなく 安心安全 道続く」

もとき しゅうご
本 木 秀 悟 さん （埼玉県 戸田市立戸田東小学校）

「ゴミ拾い 通学路への 恩返し」

つばい ほのか
坪 井 穂 果 さん （埼玉県 北本市立北小学校）

「中学生の部」

「安全に 渡れば次に 繋ぐ道」

いしかわ ちさと
石 川 千 智 さん （神奈川県 横浜市立西金沢義務教育学校）

「その道で 笑顔と希望をバトンパス」

にしむら かのん
西 村 奏 音 さん （兵庫県 神戸学院大学附属中学校）

「一般の部」

「人々の 生活(くらし)の中に 生きる道」

たけうち みつとし
竹 内 光 利 さん （三重県 鈴鹿市）

「過積載 道路が痛い と 泣いてるよ」

いのうえ まい か
井 上 舞 華 さん （東京都 八王子市）

【各委員からの総合選評】

《小早川委員》



昨年よりも応募総数が大幅に増えて、選考には大変苦勞しましたが、多くの皆様が道路ふれあい月間の標語に興味を持っていただけることは大変うれしく思います。今年度の作品は、とてもバラエティに富んでおり、審査懇談会委員の評価も分散しました。たくさんの作品のなかから、何か少しでも琴線に触れる言葉をチョイスされた方が選ばれたのではないかと感じています。また、「災害時に命を守る道路」という意味合いの作品も複数みられました。今回は選ばれませんでした。身近な道路のひとつの重要な役割であると感じています。

《三好委員》



今年もみなさんの作品に笑ったり、感心したり、納得したり。表現って本当に自由で無限大ですね。選ばれた標語たちは、まるで映画や絵画を観ているようにその情景が浮かびますが、自然光と人の想いの交錯を見事に描いた小学生の部の「夕暮れの～反射板」は、誰もが知っている一瞬を直球で捉えて印象的でした。中学生の部の最優秀賞は、「未来」と「繋ぐ」という最も多い言葉を、その位置と表現で奥深さや広がりが出て、まるで交響曲のよう。個人的には、情景を詠んだもの（美しい）、道路さん頑張ってる的なもの（可愛い）、何度も思い出して笑ってしまうもの（可笑しい）が好きですが、今回のどの作品も改めて道の存在や役割に気づかせてくれる力作でした。選ばれた標語たちが日本中を駆け巡り、よりステキな世界になっていくことを願います。

《やすみ委員》



各部門に多数のご応募をいただき「道路ふれあい月間」への関心の高さを嬉しく思います。

例年通り優しさや思いやり、安全第一を伝える内容のものが多かったですね。

人間模様が垣間見える言葉選びで上手にまとめた標語にたくさん出会えました。

なかには凝った表現や、遊び心のあるワードを取り入れた作品もあり、ご自身のセンスを活かして楽しく標語作成して下さったのであろうお姿も想像できました。

入賞作品には、あらゆる人の心に寄り添ってくれる
ものが出選できたのではないかと思います。

皆さんの生活に溶け込み、親しまれる標語になることを心から願っています。

【各委員から最優秀賞作品へのコメント】

小学生の部 【 夕暮れの 一番星は 反射板 】

やすみ委員

最優秀賞「夕暮れの一番星は反射板」は、表現力の高さを感じる作品です。

見上げた空に明るく光るものを見つけた時の「ハッ」とした瞬間を切り取り、「一番星」と巧く言い換えています。交通安全とともに、道路で見つけるさまざまなものへのまなざしが伝わってきました。優秀賞の「限りなく～」も安心安全を謳い、続いていく道路へそのメッセージを込めることができている印象に残りました。

もうひとつの「ゴミ拾い～」は美化活動へ勤しむ様子だけでなく「恩返し」という言葉に心も表すことができている優れた標語ですね。

中学生の部 【 未来まで つないでいこう 道しるべ 】

小早川委員

最優秀賞の作品は、審査懇談会委員の全員から評価が高かった作品です。無駄な言葉がなく、標語としてとても相応しいと感じました。また、最後の「道しるべ」という単語の選択もよかったと思います。

優秀作品の2編も最優秀作品と僅差の高評価でした。「安全に渡れば次に 繋ぐ道」は、道路を「安全」に利用することと、それを未来に「繋げて」いくことの重要性が表現されている作品だと思いました。

「その道で 笑顔と希望をバトンパス」は、「バトン」という言葉を用いた作品は他にもありましたが、最後に「バトンパス」という言葉をもってきたことで、声に出して読んだときの音の響きがとてもよかったです。

一般の部 【 続け未来に 地域の道路は たからもの 】

三好委員

最優秀賞の今北さんの「続け未来に～たからもの」は、代表標語にもなりました。言葉の配置は逆にもなりますが、この並び方が「たからもの」をより強調してくれました。やすみ委員が「最初の“続け未来に”がよかったね」と仰ってましたが、五七五に拘らなくてもよいと思わせる言葉の強さがあります。優秀賞

「人々の～生きる道」では、そこを利用することで道も初めて喜ぶのかなと再認識。色々な道がありますが、共に成長していくことが大事ですね。暮らしを、生活（くらし）としたところもポイントでした。「過積載～泣いてるよ」は、そのものズバリですが、可愛くて素直でインパクトあり。道路の叫びを小さなお子さんが聞いて、「かわいそう」と訴えている様子が浮かびます。道路保全に関係ある標語が並びましたが、作る・使う・直すは大切なテーマ。道路が身近に感じられるさり気ない雰囲気もよかったですね。